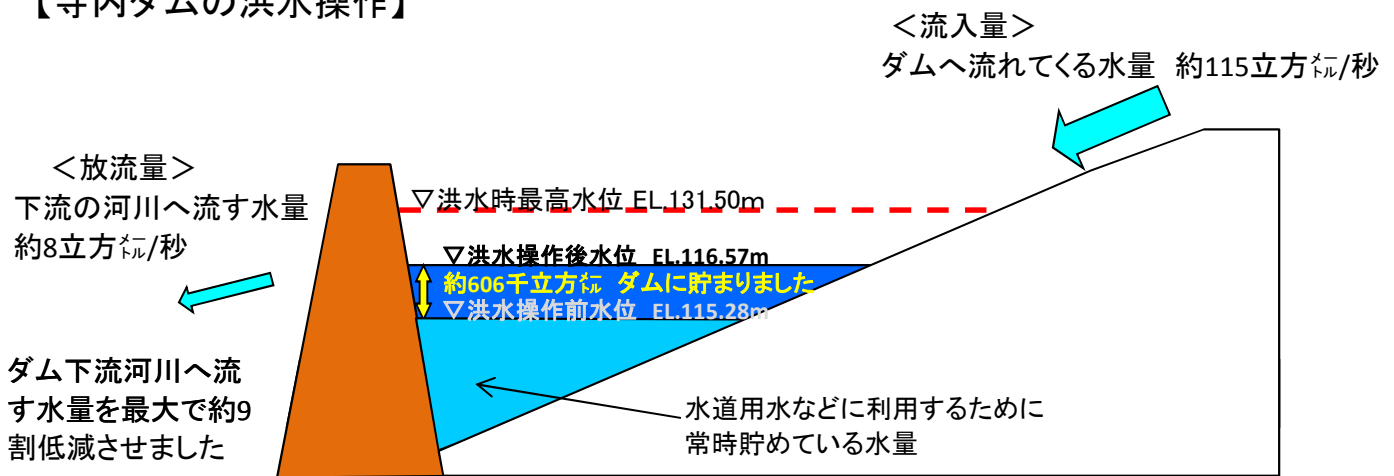


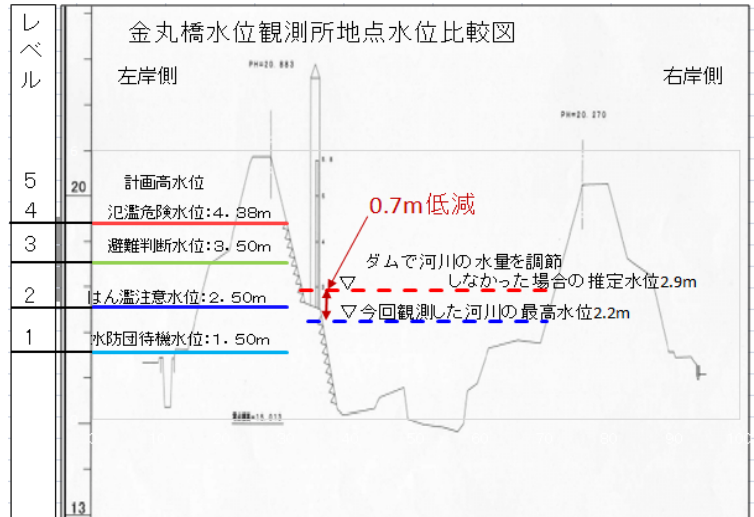
7月3日の大雨による寺内ダム洪水操作の^{てらうち}効果について

- ◆7月3日の大雨により、ダム上流の流域平均雨量は213mmを記録し、ダムへの流入量は、最大 毎秒約115立方^{メートル}に達しました。
- ◆寺内ダムの洪水操作(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)
7月3日9時より、寺内ダムへ流れてくる水量の一部を寺内ダムに貯めて、ダム下流河川へ流す水量を最大で約9割低減させる操作を行い、ダムへ約606千立方^{メートル}の水を貯留しました。
- ◆寺内ダムの洪水調節の効果
この操作により、ダム下流の金丸橋水位観測所において、今回の大雨による河川の最高水位を約0.7メートル低減させ、はん濫注意水位(2.5m)以下に抑えたと推定されます。
※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

【寺内ダムの洪水操作】



【寺内ダムの効果】



問合せ先:独立行政法人 水資源機構
朝倉総合事業所 寺内ダム管理所
所長代理 出水(でみず)
電話0946-22-6713

【寺内ダムへの流入状況】

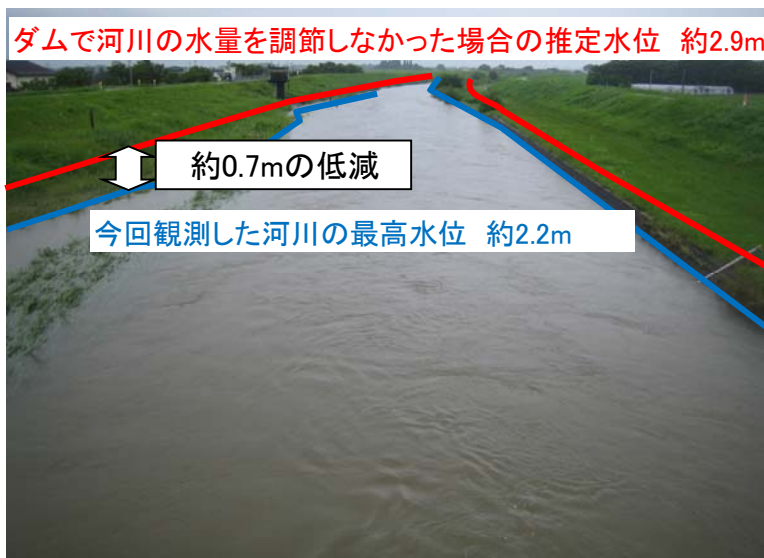
寺内ダム貯水池上流地点における流況(7月3日14:10 ダム流入量59立方メートル/秒)



寺内ダムへの貯留状況(イメージ)



金丸橋水位観測所の状況



寺内ダムの洪水操作により、河川の水量を調節したことによって、佐田川の本丸橋水位観測所地点で約0.7m河川の水位を低減させ、はん濫注意水位(2.5m)以下に抑えたと推定されます。